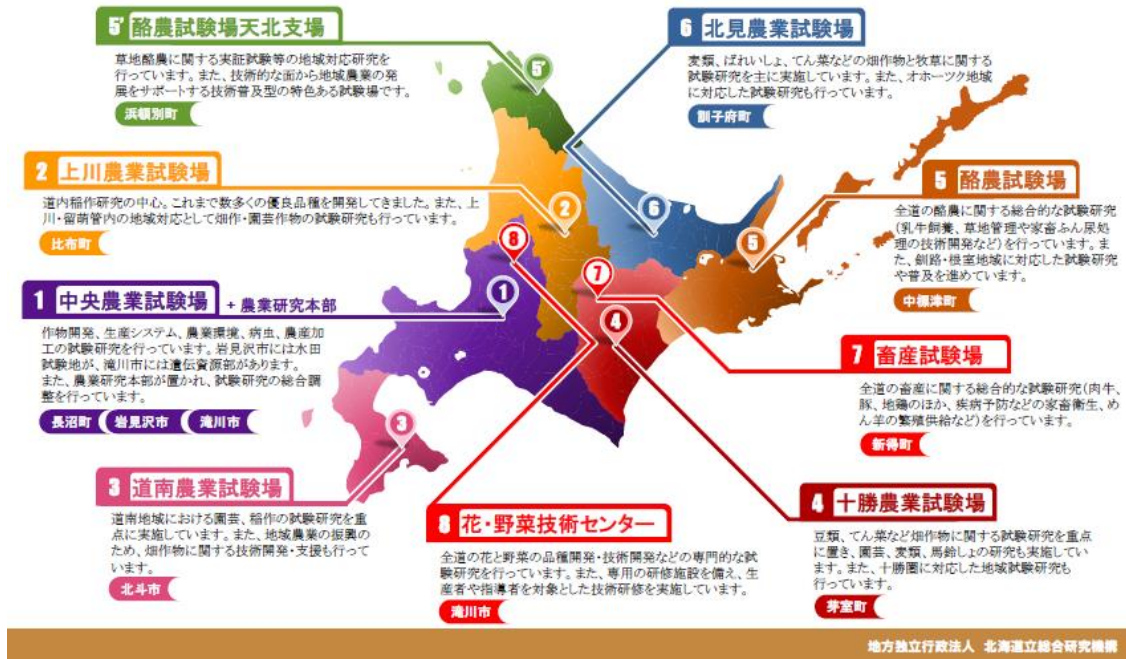




道総研【畜産・獣医学】分野 研究職に関心をお持ちの皆様

道総研には幅広い専門分野での活躍フィールドがあります。詳しくは【道総研 業務説明会】で！
畜産学・獣医学を専攻されている皆様のご参加をお待ちしています!!

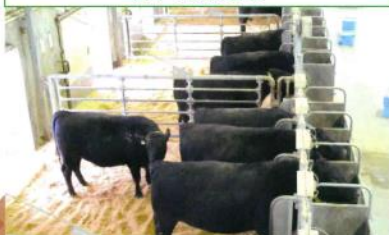
【道総研 農業研究本部試験場】



【酪農、畜産分野での取り組み】

酪農・畜産・飼料作物

肉牛の飼養管理



乳牛の飼養管理や繁殖技術のほか、家畜(肉牛、豚、地鶏)の品種改良等の研究を行っています。



優良黒毛和種雄牛「勝早桜5」の育成
肉量、肉質、子牛の発育及び娘牛の体型に優れた種雄牛を育成しました。

飼料作物の栽培試験

家畜のエサとなる飼料作物の品種開発や生産技術の研究を行っています。



北海道立総合研究機構 農業研究本部
畜産試験場 所在地：上川郡新得町字新得西5線39番地1
酪農試験場 所在地：標津郡中標津町旭ヶ丘7番地

フカボリ！ドーソーケン

検索Q





【道総研 畜産試験場での取組事例】

T 肉牛グループ

肉毛形質の育種改良を効率的に進めるため、フィールド試験による遺伝的精力評価やCTH法を用いた選抜法について研究しています。研究成果は、優良な肉毛形質を持つ個体にも活用されています。

肉毛形質の育種にも効率的に生産する飼養管理技術(飼育・育成・肥育・繁殖)の影響を取り組んでいます。平均的産肉量・肉色・肉色と肉のおいしさを保つための研究も行っています。



技術普及室

技術普及室では、畜産試験場の技術支援グループが北海道の畜産関係者と連携して、試験場の研究成果に基づく新たな技術の普及、および農業技術についてのコンサルティングを行っています。

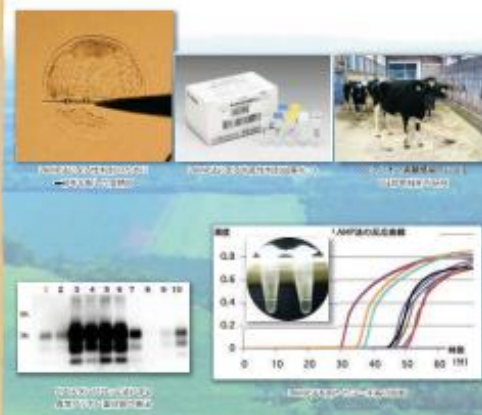
また、行政・産農改良普及センターや関係機関と連携を図りながら、地域農業が直面する課題に迅速かつ的確に対応します。



N 畜産工学グループ

畜舎の生産効率向上および適応的改良を目指し、受胎診断、受胎期の環境管理、産後ケアなど幅広い畜舎管理に関する研究を行っています。

また、食の安全を支えるために抗菌ペリオン感染対策をはじめとする病原菌研究や遺伝子検査技術(LAMPなど)を用いた感染症診断技術の開発を行っています。



中水家畜グループ

畜舎の衛生管理や環境負荷低減に向けた取り組みとして、バイオガスや堆肥の生産・利用に関する研究を行っています。また、畜舎の衛生管理や環境負荷低減に向けた取り組みとして、バイオガスや堆肥の生産・利用に関する研究を行っています。



家畜衛生グループ

畜舎の衛生管理や環境負荷低減に向けた取り組みとして、バイオガスや堆肥の生産・利用に関する研究を行っています。また、畜舎の衛生管理や環境負荷低減に向けた取り組みとして、バイオガスや堆肥の生産・利用に関する研究を行っています。



飼料環境グループ

飼料の生産効率向上および適応的改良を目指し、受胎診断、受胎期の環境管理、産後ケアなど幅広い畜舎管理に関する研究を行っています。また、食の安全を支えるために抗菌ペリオン感染対策をはじめとする病原菌研究や遺伝子検査技術(LAMPなど)を用いた感染症診断技術の開発を行っています。



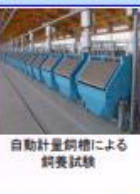
【道総研 酪農試験場での取組事例】

研究内容と分担

自給飼料主体で健康的な乳牛の飼養管理と持続的な酪農経営の発展に向けて (乳牛グループ)

北海道の豊かな土地資源と自給飼料に立脚した乳牛の飼養管理に関する試験研究を行っています。

- ・泌乳牛の乾物摂取量を最大化するための牧草サイレージの繊維消化性
- ・TMRセンター利用飼養体系における良質自給飼料生産利用を基本とするスマート牛群管理の実証
- ・乳牛繁殖管理・育成牧場の飼養管理実証調査事業
- ・出荷時生乳の異常風味発生リスクを高める乳中遊離脂肪酸および飼養管理条件の解明 (飼養)



乳牛の繁殖管理や生産寿命の延長をめざした健康管理についての試験研究を行っています。

- ・牛群検定の乳中ケトン体濃度を活用した飼養管理評価手法の開発
- ・低侵襲・簡易迅速な牛の早期妊病判定技術の開発
- ・温度センサーと加速度センサーを内蔵する牛用多機能尾部センサーの周産期管理への利用
- ・群飼育下の乳用雌用牛から体調不良個体を早期検出するリアルタイムモニタリング技術の開発 (繁殖)



持続的な酪農経営や地域農業の活性化に関する試験研究を行っています。

- ・自給飼料の安定確保が大規模酪農経営の牛乳生産に与える効果の解明
- ・雇用型TMRセンター成立条件の解明
- ・放牧経営におけるフリーストール飼養方式導入の経営評価
- ・繁営酪農経営における家族労働力減少対策の解明 (経営)



環境と調和した高品質自給飼料の生産に向けて (飼料生産技術グループ)

良好な自給飼料基盤を支える牧草と飼料用とうもろこしの栽培・利用法の試験研究、品種の選抜・選定、ICT技術を活用した情報システム開発を行っています。

- ・環境地域気象条件に適応した新品種の育成
- ・乳牛の栄養摂取量最大化を可能とする高消化性牧草生産技術の開発
- ・ICT技術を活用した種生診断・栽培適地判定・収穫適期予測など情報システムの開発 (草地飼料)



酪農地帯の豊かな自然と調和した生産性の高い草地管理技術確立のための試験研究を行っています。

- ・栄養収量、品質を向上させる飼料生産技術の開発
- ・大規模飼料基盤の効率的な管理技術の開発
- ・環境と調和した持続的酪農を推進する技術の開発
- ・酪農が環境に与える影響の評価 (栽培環境)



地域とともに開発された新技術の導入や現地における実証試験に取り組んでいます。

- ・乳牛の周産期管理のモニタリングと適正化による牛群の健康改善 (地域支援)



道北・オホーツクにおける環境と調和した酪農に向けて (天北支場)

地域の多様な研究ニーズに迅速に対応し、新しい技術の普及・定着と体系化を一層促進することに努めています。

法人の研究職員と道の在勤普及指導員が一体となり、道北における草地農業現場と研究部門との密着化を図り、地域に適した農業技術の開発と身近な酪農課題の解決に向けて積極的に取り組んでいます。



地域の活性化支援に向けて 北海道農政生産振興局技術普及課 酪農試験場技術普及室

酪農試験場や関係機関・団体と連携し、農業改良普及センターが行う普及活動の支援や酪農試験場研究部と技術体系化チームを編成して、新技術の総合化と実証に取り組んでいます。

- ・酪農試験場で開発した新技術の普及
- ・農業改良普及センター活動の支援
- ・地域農業技術支援会議による地域ニーズの把握と地域課題の解決

